

文化・生涯学習振興、少子化対策に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
文化振興課	2022年07月06日から 2022年07月25日まで	1386	944	68%

今回は、文化振興課、少子化対策課からのアンケートです。

はじめに、文化振興課からお聞きします。

県では、今年度、「三重県文化振興条例（仮称）」制定に係る検討を行います。検討にあたっての参考意見とするため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

つぎに、少子化対策課からお聞きします。

県では、「三重県子ども条例」や、「第二期 希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重をめざしてさまざまな取組を行っています。

そこで、子どもが豊かに育つ地域づくりに向けた取組の重要な資料とするため、少子化対策に関する意識などについて、アンケートを実施します。

《少子化対策総合ウェブサイトみえ子どもスマイルネット》

<https://www.shoshika.pref.mie.lg.jp>

■ Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

あなたは、県立文化施設である次の施設を訪れたことがありますか。（施設外で実施される出前講座等への参加を含みます。）訪れたことがあるものをすべて選んでください。

合計	944	
三重県文化会館	590	62.5%
三重県立図書館	365	38.7%
三重県総合博物館（MieMu）	423	44.8%
三重県立美術館	367	38.9%
斎宮歴史博物館	246	26.1%
三重県生涯学習センター	181	19.2%
男女共同参画センター（フレンテみえ）	170	18.0%
行ったことのある施設はない	159	16.8%

■ Q2 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて 1

あなたが最近、鑑賞・観覧したり、自ら実践した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	944	
文学	121	12.8%

音楽	367	38.9%
美術	260	27.5%
写真	116	12.3%
演劇	73	7.7%
舞踊	16	1.7%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	297	31.5%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊等）	54	5.7%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	101	10.7%
生活文化（茶道、華道、書道等）	53	5.6%
地域固有の伝統芸能、地域の人々によって行われる民俗芸能や祭り	34	3.6%
国民娯楽（囲碁、将棋等）	21	2.2%
歴史・文化（歴史資料、文化財の鑑賞・保存・活用等）	181	19.2%
自然（動物、植物、鉱物、化石等）	217	23.0%
その他	12	1.3%
鑑賞・観覧、実践していない	235	24.9%

■ Q3 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて 2

Q2で「鑑賞・観覧、実践していない」と回答された方に質問します。その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	235	
興味はあるが、魅力的な展覧会や公演、講座がない。または、実践する場がない	51	21.7%
興味はあるが、コロナ禍のため鑑賞・観覧、または実践することができなかった(休演・中止を含む)	100	42.6%
興味がない	76	32.3%
その他	8	3.4%

■ Q4 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等（※）について、愛着を感じる

ことができると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人（俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探求した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」、北海道の命名者「松浦武四郎」、映画監督の市川崑など）のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

合計	944	
そう思う	429	45.4%
どちらかといえばそう思う	415	44.0%
どちらかといえばそう思わない	67	7.1%
そう思わない	33	3.5%

■ Q5 文化芸術活動への支障について

文化芸術を鑑賞・観覧、もしくは実践するうえで支障となっていることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	944	
忙しくて時間が取れない	419	44.4%
魅力的な展覧会や公演・講座がない	344	36.4%
他にやりたいことがある	184	19.5%
文化に関する情報が少ない	277	29.3%
費用がかかりすぎる	229	24.3%
活動、練習するための場所・施設がない	80	8.5%
指導者がいない(足りない)	49	5.2%
年齢や障がいにより活動できない	24	2.5%
特に支障はない	103	10.9%
その他	77	8.2%
わからない	31	3.3%

■ Q6 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	944	
観光	625	66.2%
まちづくり（地域の活性化）	568	60.2%

国際交流	177	18.8%
福祉	68	7.2%
教育	352	37.3%
子育て	196	20.8%
経済・産業	198	21.0%
スポーツ・健康増進	85	9.0%
その他	8	0.8%
わからない	34	3.6%

■ Q7 人口減少等の進行による地域の文化芸術等への影響について

人口減少や過疎化が進む中で生じる地域の文化芸術への影響等について、あなたが不安に感じることは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	944	
地域で公演等が開催されなくなり、文化芸術を鑑賞・観覧する機会が減少する	379	40.1%
文化芸術活動を実践する機会が減少する	153	16.2%
文化芸術活動を通じた人とのつながりが減少する	169	17.9%
地域の伝統的文化（祭り、年中行事等）の担い手・継承者が不足する	627	66.4%
地域の文化財（建造物、工芸品など）の維持管理が難しくなる	362	38.3%
文化芸術活動の指導者や講師等をする人材が不足する	237	25.1%
地域の文化施設（市民会館などの文化会館、博物館、図書館など）が維持できなくなる	248	26.3%
特に不安はない	37	3.9%
その他	4	0.4%
わからない	31	3.3%

■ Q8 アフターコロナを見据え、今後県が力を入れるべき文化施策について

アフターコロナを見据え、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	944	
----	-----	--

魅力ある展覧会や公演、講座等を開催すること	344	36.4%
子どもたちが文化芸術や伝統文化にふれる機会を充実すること	465	49.3%
文化芸術を活用した地域の活性化	151	16.0%
文化芸術を担う人材を育成支援すること	233	24.7%
年齢や障がいの有無にかかわらず文化芸術活動を行える環境の整備	95	10.1%
三重が誇る豊かな歴史的資産等や文化施設など文化資源の観覧等を通じて文化についての理解を深めることを目的とした観光の推進	305	32.3%
地域の伝統的文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること	231	24.5%
文化財が適切に保存・継承されるとともに、地域において活用されるようにすること	189	20.0%
県内外の文化施設と連携することにより、県立の文化施設の魅力を一層高めること	67	7.1%
文化芸術に関する情報の発信を強化すること	120	12.7%
自宅でも文化施設を楽しめる動画やデジタル技術を活用した取組を推進すること	110	11.7%
その他	13	1.4%
わからない	28	3.0%

■ Q9 少子化対策の取組の効果や成果について

ここからは、少子化対策課からお聞きします。

県では、「第二期 希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、さまざまな少子化対策の取組を進めていますが、あなたは地域社会においてその効果や成果が現れてきていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	944	
思う	21	2.2%
どちらかといえば思う	131	13.9%
どちらかといえば思わない	290	30.7%
思わない	227	24.0%
わからない	275	29.1%

■ Q10 結婚について

県内でも未婚化・晩婚化が進んでいます。結婚に対してポジティブな気持ちを持ってもらうことの後押しとし

て、どんな取組が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	944	
若い世代の所得の向上や安定した雇用環境	694	73.5%
安全・安心な出会いの機会の提供	417	44.2%
お見合い等の婚活サポーター（ボランティア）による紹介	191	20.2%
結婚や新生活への補助の実施（結婚祝金、住宅補助など）	433	45.9%
地域や職場での婚活支援	220	23.3%
その他	56	5.9%

■ Q11 結婚支援の取組について

県が結婚の支援を行うにあたり、重要だと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	944	
婚活イベント・セミナー等の実施	296	31.4%
相談体制の充実	225	23.8%
マッチング（お見合いや引き合わせ）の実施	321	34.0%
県独自のマッチングアプリによるAIを活用したマッチングの実施	231	24.5%
結婚新生活への補助の実施（新居や引っ越しにかかる費用など）	559	59.2%
その他	82	8.7%

■ Q12 三重県子ども条例の認知度について

県では、「子どもが豊かに育つことができる地域社会」の実現をめざし、「三重県子ども条例」を平成23年に定めています。

あなたは、「三重県子ども条例」のことを知っていますか。「全く知らない」とお答えいただいた方はQ14へお進みください。

合計	944	
名前も内容も知っている	31	3.3%
名前だけは知っている	314	33.3%
全く知らない	599	63.5%

■ Q13 三重県子ども条例を知ったきっかけについて

Q12で「名前も内容も知っている」「名前だけは知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたが「三重県子ども条例」を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	345	
学校からの通知や学級通信	61	17.7%
テレビ、新聞、雑誌	91	26.4%
家族、友達、知人	29	8.4%
研修会、講演会	24	7.0%
ポスター、パンフレット	53	15.4%
県や市町の広報紙	201	58.3%
その他	14	4.1%

■ Q15 みえこどもの城について

県では、児童に健全な遊び、体験及び交流の場を提供してその健康を増進し情操を豊かにするとともに、地域の児童館の拠点となる施設として、「三重県立みえこどもの城」（松阪市立野町1291 松阪市中部台運動公園内）を設置しています。

あなたは「三重県立みえこどもの城」にどのような機能があると良いと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

<参考> 三重県立みえこどもの城 <https://www.mie-cc.or.jp/map/>

合計	944	
ドームシアター（プラネタリウム）の上映内容の充実	172	18.2%
科学知識を学ぶことができる展示	141	14.9%
子どもの体験活動に役立つ展示や催し	285	30.2%
県内各地で「三重県立みえこどもの城」の遊びや遊具を楽しむことができる出張児童館機能	167	17.7%
現状のままでよい	113	12.0%
現在機能の縮小・廃止	22	2.3%
その他	44	4.7%